19インチサーバーラック用コンセント（電流計測タイプ）共通取扱説明書

TAP-SVSL3012CN
TAP-SVSL3018CN
TAP-SVSL3024CN

・本製品を正しくお使いいただくために、施工前・使用前に必ず本書をお読みください。
・本書は必要なときすぐ使えるように、大切に保管してください。

施工上のご注意

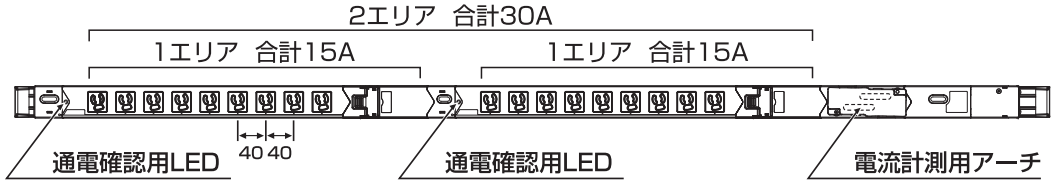
⚠警告 発熱して焼損や火災の原因になります。	⚠注意 破損、感電や火災の原因になります。
●定格電流・定格電圧を超えた条件下で施工しないでください。 ●電線ケーブルは適用サイズを使用してください。 ●単線・より線を直接接続しないでください。適用電線に適用圧着端子を用いて接続してください。 ●電源ケーブルの被覆をむくときは、芯線を切らないでください。 ●端子ネジは確実に締付けを行なってください。 ●輸送時に端子ネジが緩む場合がありますので、必ず増し締めを行なってください。	●19インチラック等に固定してご使用ください。 ●水のかかる場所、高温、低温、多湿、粉塵の多い場所に取り付けないでください。 ●コンクリートやしっくいの半乾燥状態では施工しないでください。 ●硫黄ガスやアンモニアガスなどの多い場所に取り付けないでください。 ●食用油が付着しやすい場所には取り付けないでください。 ●より線を半田あげして接続しないでください。 ●接地（アース）は確実に施工してください。 ●器具の取り付けは、必ず工事業者に依頼してください。資格保有者以外の方の取り付けは、法律で禁止されています。

使用上のご注意

⚠警告 発熱して焼損や火災の原因になります。	⚠注意 破損、感電や火災の原因になります。
●コンセント1口は15A以下で、製品に表示されている1エリア合計15A以下、2エリア合計30A以下でご使用ください。 ●分解・改造は絶対しないでください。 ●電源ケーブルを束ねて使用しないでください。 ●周囲温度40℃以下でご使用ください。 感電や火災の原因になります。 ●通電中に電源接続部のカバーをあけないでください。 ●電流計測用アーチを無理に引っ張ったり曲げたりしないでください。 ●電流計測用アーチを鋭利なもので傷つけないでください。 ●電流計測用アーチに過度な衝撃・荷重を加えないでください。	●ほこり・湿気の多い場所ではプラグを長期間差しっぱなしにしないでください。ときどき、表面や刃と刃の間を掃除してほこりをとってください。 ●電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったりしないでください。 ●電源ケーブルを機器やラックに挟み込まないでください。 ●電源ケーブルに熱いものを近づけたり、加熱しないでください。 ●タコ足配線はしないでください。 ●左右の刃の大きさが違うプラグは使用しないでください。プラグが外れなくなる場合があります。 ●刃の曲がったプラグを使用しないでください。 ●中途半端な差込状態で使用しないでください。 ●プラグの抜き差しが極端に弱い状態で使用しないでください。 ●洗剤や殺虫剤をかけないでください。 ●トイレの液体洗剤をかけないでください。 感電や火災の原因になります。 ●水のかかる場所、及び高温・低温・多湿・粉塵の多い場所に取り付けて使用しないでください。 ●外郭カバーなどが割れた状態で使用しないでください。 ●濡れた手で触らないでください。

特 長

●19インチラック等に設置する機器用コンセントです。
●不意の力によるプラグ抜けを防止する抜止形の差込口です。
●接地無し、接地形の極性区別のないプラグに使用できます。
●外ケースに強固なアルミ合金及び衝撃に強い熱可塑性樹脂を使用し、プラグ差込口及びネジ端子部に熱に強い熱硬化性樹脂を使用した二重構造です。
●通電確認用LEDを標準装備しています。（1エリアに1ヶ）
●2系統配線により1エリア合計15Aまで、2エリア合計で30Aまで使用可能です。（各エリアへサーキットプロテクタ標準装備）
●プラグ差込口間ピッチを40mm（一部80mm）に設定。
●クランプ型電流センサーやクランプメーターで使用電流を計測できる電流計測用アーチを搭載。



仕 様

●定格30A 125V（2系統 各15A）
●2極接地付抜止形
●機器内配線用
●端子ネジ：M5×P0.8
●適合電線：VCT5.5㎟（3芯）
●適合圧着端子：R5.5-5

使用環境条件

●周囲温度：-5℃～40℃（但し、24時間の平均値が35℃を超えないものとする）
●周囲湿度：85%以下（氷結、結露不可）
●標　　高：2,000m以下
●雰 囲 気：過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、腐食性ガスなどが存在しないこと。また、異常な振動、衝撃を受けない状態。

使用方法

1.差込口

(1)ご使用時は、プラグを「はずれる」の位置から差し込み、「はまる」の位置まで確実に回転させます。

(2) プラグをはずす時は、「はずれる」の位置にまわしてから、まっすぐ上に引き抜きます。

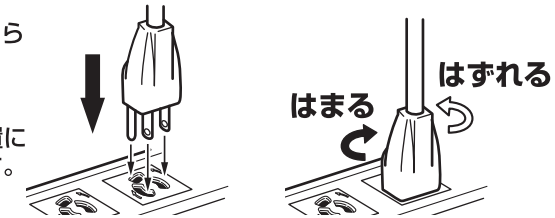
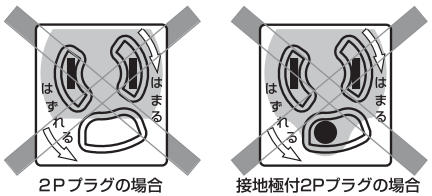


図 1

2Pプラグの場合　接地極付2Pプラグの場合

注1）
図１の位置で差込プラグをコンセントに対し垂直に差し込んで下さい。絶対に斜めに差し込まないでください。

図 2



2Pプラグの場合　接地極付2Pプラグの場合

注2）
図2のような位置で差込プラグは差し込まないでください。抜止構造が破壊するだけでなく導通不安定を発生させる原因になります。

2.電流計測部

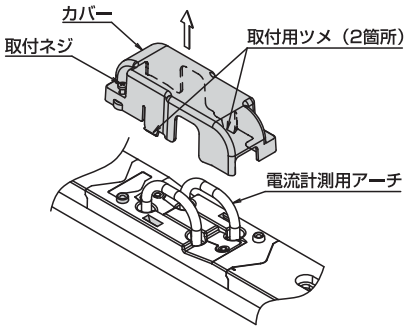
カバーの取り外し方法

図3を参考にしてカバーの取り外しをしてください。
①カバーの取付ネジを緩めてください。
②カバーの取付用ツメを内側へたわませ、ツメの引掛りが外れた状態でカバーを持ち上げ外してください。

カバーの取り付け方法

カバーを取り付けて取付ネジを締付けてください。

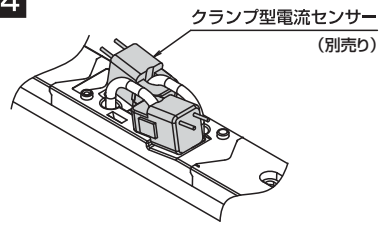
図3



クランプ型電流センサーでの計測方法

図4を参考にしてクランプ型電流センサー(別売り、以下CT)を電流計測用アーチに取り付けてください。
CT推奨サイズ：CTL-10-CLS（U_RD製）相当
※CTのサイズによっては、取り付けが出来ないもの、または取り付けが出来てもカバーの取り付けが出来ない場合があります。

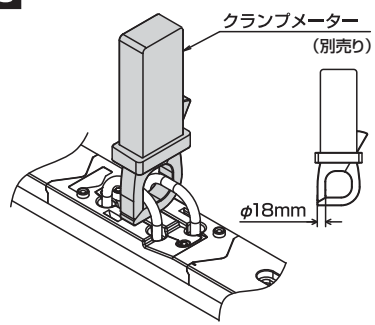
図4



クランプメーターでの計測方法

図5を参考にしてクランプメーター(別売り)で電流計測用アーチをクランプしてください。
系統毎に計測する場合は計測側系統の電流計測用アーチをクランプ、また合計を計測する場合は両系統の電流計測用アーチを同時にクランプしてください。
[参考]
クランプメーターのクランプ部(トランスコア部)最大サイズ
・φ18mm
下記のクランプメーターについてはクランプ計測可能であることを確認しています。
・CL120（YOKOGAWA製）
・CL150（YOKOGAWA製）
※上記以外のものについてはクランプメーターの種類によってクランプ計測用アーチをクランプ出来ない場合があります。

図5



最新の情報はWEBサイトで
https://www.sanwa.co.jp/

本製品の詳細情報はこちら!

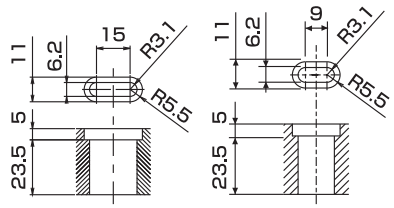
弊社サポートページはこちら!

施工方法

1.コンセント取付け方法

本体取付穴にナベ小ネジM5又はM6を使用し取り付けてください。

M4ネジを使用する場合は、平座金又はトラス小ネジをご使用ください。



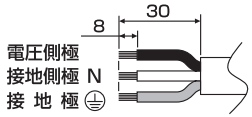
本体取付穴寸法

注意：取り付け後はプラグを抜き差しする際にコンセントに力が加わりますので、ラック等の取付部の強度を十分に考慮した上で取り付けてください。

2.電線接続方法

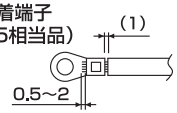
電線加工寸法

適用電線：VCT5.5mm² 3芯

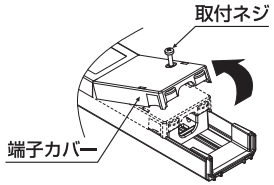


圧着端子カシメ位置寸法

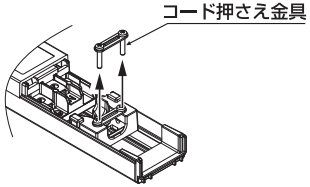
適用圧着端子：丸型圧着端子
R5.5-5（JIS C2805相当品）



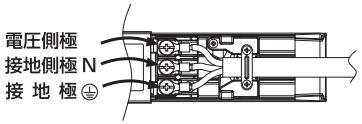
①端子カバーの取付ネジを緩めて取り外してください。



②コード押さえ金具のネジを緩めて取り外してください。

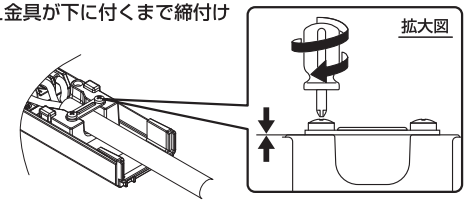


③端子台と電線の極性をあわせ規定のトルクで端子ネジを締付けてください。

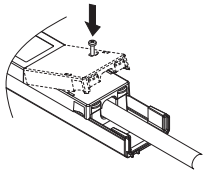


端子ネジ締付けトルク：1.8~2.0N・m

④コード押さえ金具を元の位置に取り付けコード押さえ金具が下に付くまで締付けてください。



⑤端子カバーを取り付けてネジを締付けてください。



注意：接続作業は、電源ケーブルが通電状態でないことを確認してから行なってください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 セントラル新大阪ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CA/AB/KYDaY